

てすとるうむ

プレーヤ
システム

■ MICRO DD-5

■ 54,800

■ 規格

<フォノモーター部>

▶ 駆動方式：ダイレクトドライブ▶
モーター型式：ACサーボモーター
▶ ターンテーブル：31cmアルミダイ
キャスト1.5kg ▶ ワウ・フラッター
：0.03%以下▶ SN比：60dB以上

<トーンアーム部>

▶ 型式：スタティックバランス型▶
針圧調整範囲：0～3g ▶ カートリ
ッジ自重範囲：4～11g (サブウェ
イト使用時, 8.5～16.5g, 13.5～21.5g)

<総合>

▶ 外形寸法：466(W)×342(D)×150
(H)mm ▶ 重量：9.1kg

ハンドリング & ヒヤリング▼

解説▶

DCサーボベルトドライブのベストセラー機SOLID 5をさらにグレードアップ、ダイレクトドライブとした製品ともいえるのがこのDD-5。機構的には、FGサーボ方式のACダイレクトモーターを搭載し、ワウ・フラッター0.03%、SN比60dB以上と特性的にも優れている。

カートリッジは、同社の新製品Plus-1が付属している。



行方洋一

大型インシュレータに乗った非常にコンパクトなでき上りの製品である。

大型箱にはいったものと同らべると大きさの点で少々見劣りはするが、内容はどうしてどうしてリッチなものである。専門メーカーの良さともいうのか内容の良さに充分感じられた製品である。

S/Nも良く、音も大変スツキリしておりセッティング場所もあまりえらばないように感じた。ワンスイッチスタイルのスピード切り換えなど、使いやすさに魅力があり、デザインもマイクロトーンでつくられている。アームとシェル

をジョイントするリングの部分のゴムは使いやすく大変親切だ。こんなところにマイクロならではの心使いが感じられた。アームの動きもよく、アームエレベーションの精度も大変よかった。



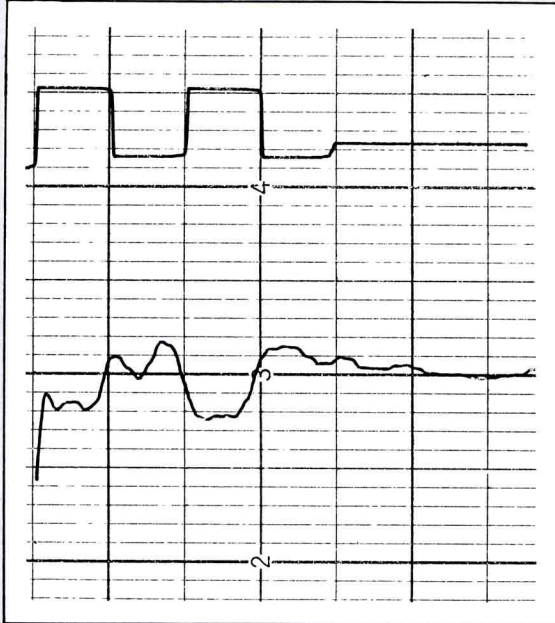
和田則彦

ワン・ボタンによる33/45rpmプッシュ/プル切り替えが大変よい。

アームのネックのリングや、カウンターウエイトの針圧調整リングがゴムの梅鉢式になっているのは、抜群の操作性で、デザインとしてもグウ！だ。

アームリフターの垂直度もきわめてすぐれているし、昇降操作もスムーズだ。

TEST



■動負荷特性

カッティング・レベル

: -24dB, 0dB, +18dB

基準カッティング・レベル

: (0 dB) 50mm/sec

回転数の変化量: 0.05%/div

ワウ/フラッタも全くといってよいほど検知できない。

ストロボの照明燈がやや暗く狭角度なのは残念だが、室内照明が普通なら問題なからう。

トータル・ハウリング・マージンは抜群で、足廻りのインシュレーションもしっかりしている。

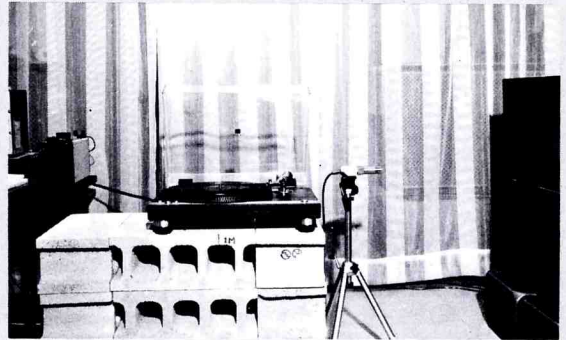
インサイドフォース・キャンセラーは目盛り盤(固定式)が大きくて見やすい反面、調整軸の黒点があまり小さすぎて見にくいのが玉にキズだ。

いずれにしても「微現的」の名は体を表わすようで、長年の経験が細部の隅々にまで行きわたったゲミュートリッヒな温かみのある名品である。

てすとるうむ プレーヤシステム

■MICRO

■DD-5



DATA▶

■WOW.....0.058%

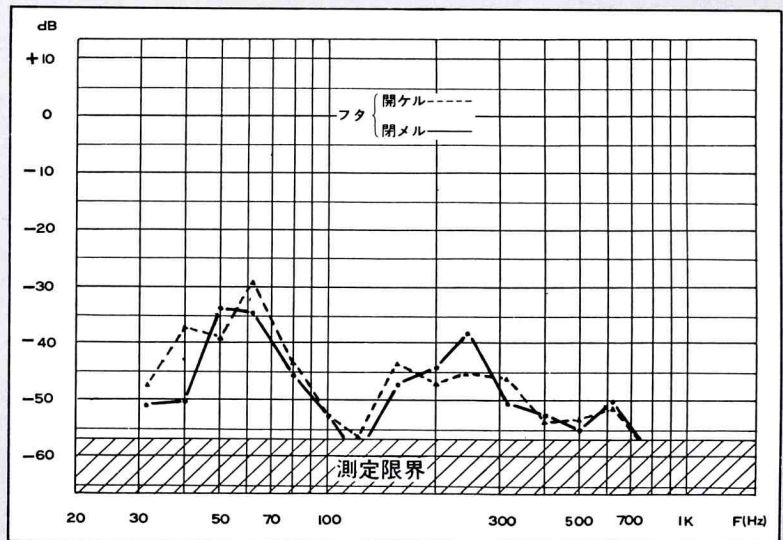
■FLUTTER.....0.017%

(聴感補正なし、実効値)

使用レコード

東芝EMI LF-1003

JIS C-5507



■音圧レスポンス

使用カートリッジ: テクニクス

205C/III

測定針圧: 1.5 g

基準出力レベル (0 dB)

: 50mm/sec/1 kHz

音圧レベル (プレーヤの側面)

: 95dB

SP~プレーヤ(センタースピンドル)

: 1 m